

英語字幕付き日本映画上映会

入場無料・事前申込不要・先着順

『源氏物語』を現代語訳によって後世に伝えた作家、谷崎潤一郎と円地文子。
今回の上映会では映画化された『源氏物語』と、谷崎、円地による著作の映像化作品を取り上げます。

2024年
11月20日(水)

女舞

監督：大庭秀雄 原作：円地文子 秋元松代
キャスト：岡田茉莉子 佐田啓二 岩下志麻 宮口精二 三津田健
1961年 松竹 99分 カラー 35mm

円地文子・秋元松代の連続放送劇の映画化。柳井隆雄と大庭秀雄が脚色し大庭秀雄が監督した。浜村流の舞踊家・浜村千弥は能楽宗家の若太夫、西川昌三について能の稽古を始めた。彼の稽古は厳しかった。西川には女性関係の噂がたえなかった。舞台の後、箱根に静養に出かけた千弥はそこで西川が廃嫡になって金沢へ追われたことを知らされる。



©1961 松竹株式会社

11月21日(木)

細雪

監督：市川崑 原作：谷崎潤一郎
キャスト：岸恵子 佐久間良子 吉永小百合 古手川祐子 石坂浩二
1983年 東宝 140分 カラー 35mm

三女の縁談を中心に四人姉妹のそれぞれの一年間の出来事を、四季折々の風物を絡めながら描く、谷崎潤一郎の同名小説の映画化。市川崑と日高真也が脚本を共同執筆し、市川崑が監督した。昭和13年。大阪・船場の蒔岡家では、次女・幸子らが三女・雪子に縁談の世話を続けていた。しかし話は一向にまとまらず、雪子本人はのんびりとお嬢さま暮らしを楽しんでいる。一方、5年前に駆け落ち騒ぎを起こした四女・妙子は、恋人の急逝をきっかけに酒場へ通うようになる。



©1983 TOHO CO.,LTD.

11月22日(金)

源氏物語

監督：吉村公三郎 原作：紫式部
キャスト：長谷川一夫 木暮実千代 大河内伝次郎 京マチ子 乙羽信子

1951年 角川(大映) 124分 モノクロ 35mm

時の御門の寵愛を一身に集めた桐壺は、弘徽殿女御たちの嫉妬のなかに御子を身ごもり、里に帰って玉のような男子を生み光君と呼んだ。しかし桐壺はそのまま病床にふし光君5歳の時みまかった。光君は立派に成人し、源氏の姓を賜わり、御門の寵愛もめでたく立身出世も早く、美しい風貌は御所内の女たちの讚美的となった。源氏の胸に秘められた女性は亡き母に似た藤壺であった。



© 1951 KADOKAWA

上映開始

各日 14 時 (開場：13時30分)

会場

kokoka京都市国際交流会館
イベントホール

京都市左京区粟田口鳥居町2-1

*京都市営地下鉄東西線「蹴上(けあげ)」駅
2番出口徒歩6分

定員

200名(事前申込不要・先着順)

※全席自由。上映開始後の入場は出来ません。



問合せ先：国際交流基金京都支部 075-762-1136 (受付時間：月～金 10時～17時)

Email：JF_Kyoto@jpf.go.jp

主催：国際交流基金京都支部

共催：公益財団法人 京都市国際交流協会